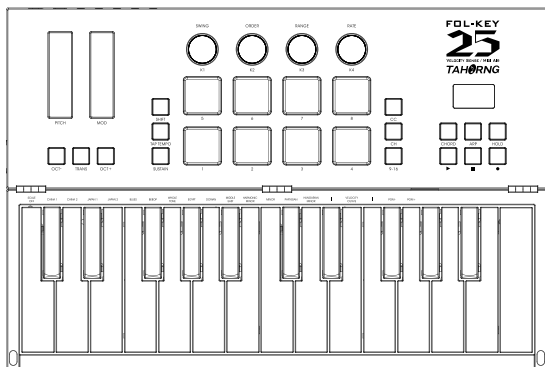


FOL-KEY 25

VELOCITY SENSE / MIDI AIR
FOLDABLE MIDI KEYBOARD CONTROLLER



折りたたみ式 MIDI キーボード&コントローラー FOL-KEY 25 取扱説明書

TAHORNG

TAHORNG 日本輸入総代理店
〒461-0004 名古屋市東区葵 2-3-13 みねビル 3F

株式会社ファインアシスト

www.fineassist.jp

■はじめに

この度はTAHORNG 折りたたみ式 MIDI キーボード&コントローラー FOL-KEY25 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。FOL-KEY25 はベロシティー対応のフルサイズ鍵盤を搭載した 25 鍵キーボードに 8 つのベロシティー感知型パッド、4 つのコントロールノブ、2 つのタッチコントロールセンサーを装備した、折りたたみ式 MIDI キーボード&コントローラーです。8 つのベロシティー感知型パッド（アフタータッチ対応）は、ボタン一つで別の 8 つのノートに切り換えられるため、実質 16 ノートをコントロールでき、ドラムパッドやサンプルブレイトリガーとしても最適です。また、パッドをコントロールチェンジパッドとして使用することも可能なため、本格的な音楽制作にも対応可能です。鍵盤部分にはスケール機能を装備しており、民族音楽的なフレーズを簡単に演奏することができる他、指一本で和音を出力するコードモードも装備しています。また、音価やオクターブレンジ、スイング具合などを自由に設定できるアルペジエーター機能も搭載しており、ライブパフォーマンスにもお使いいただけます。鍵盤のノート情報（音程）やモジュレーションタッチコントロールセンサーの情報を CV として出力する機能も装備しており、MIDI だけで無くアナログシンセサイザーのコントロールも可能。さらに Bluetooth MIDI (BLE-MIDI) 機能に加え、充電式の内蔵バッテリーも搭載しており、完全ワイヤレスでの MIDI コントロール環境を提供します。

■主な特徴

- ・持ち運びに便利な折りたたみ式 25 鍵 MIDI キーボード&コントローラー
- ・USB 接続または Bluetooth MIDI (BLE-MIDI) 接続で様々なデバイスと接続可能
- ・ベロシティー感知&アフタータッチ対応のパッドを 8 つ搭載
- ・ピッチベンド、モジュレーションとして使用可能なタッチ式コントロールセンサーを 2 つ搭載
- ・MMC コントローラーとしても使用可能なボタンスイッチを 3 つ装備
- ・コントロールチェンジを送出できる K1 ~ K4 ノブを搭載
- ・オクターブシフトスイッチおよびトランスポーズ（± 11 半音）機能を装備
- ・内蔵充電式バッテリー
- ・サスティンペダル端子を装備
- ・3.5mm フォンジャック MIDI OUT 端子装備
- ・アナログシンセモジュールをコントロール可能な PITCH、GATE、MOD の CV 端子を装備
- ・オートオフ機能付き（30 分）

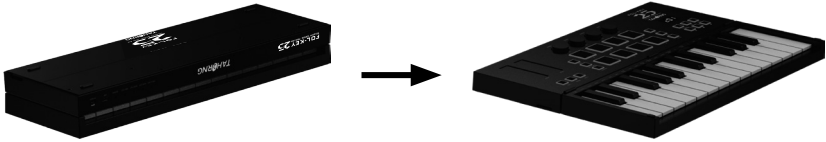
■使用上の注意

- ・FOL-KEY25 の上に重たいものを置かないでください。
- ・FOL-KEY25 を不安定な場所に置いて使用しないでください。
- ・浴槽やプールなどの水や濡れた場所の近くで使用しないでください。
- ・火災や感電の原因となる可能性があるため、絶対に分解しないでください。
- ・ガスや火気のある場所で使用しないでください。
- ・清掃の際は乾いた布を使用してください。
- ・本体をシンナーやベンジン等の有機溶剤や洗剤等を使用して拭かないでください。
- ・長時間使用しないときや雷雨の際は USB ケーブルを抜き、本体の電源を切ってください。
- ・バッテリーを使い切ってしまうと、バッテリーの寿命を短くする可能性がありますので、完全に放電する前に充電を行って下さい。

■ FOL-KEY 25 の広げ方

FOL-KEY25 は鍵盤を半分に折りたたんであり、これを広げることによって使用可能になります。FOL-KEY25 は 2 種類の形式で使用可能です。

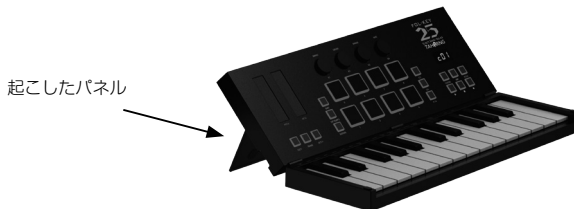
1. FOL-KEY25 のロゴ面を上にした状態から、本体を手前から奥に向かって平面になるまで開き、下図の様に使用する



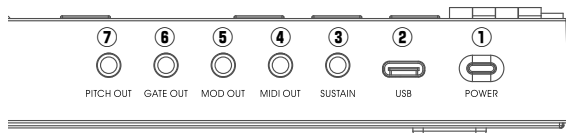
2. FOL-KEY25 のロゴ面を上にした状態から、ロゴ面左右にあるくぼみの部分に指を入れ、ロゴ面のパネルを 45 度程度手前に起こします。



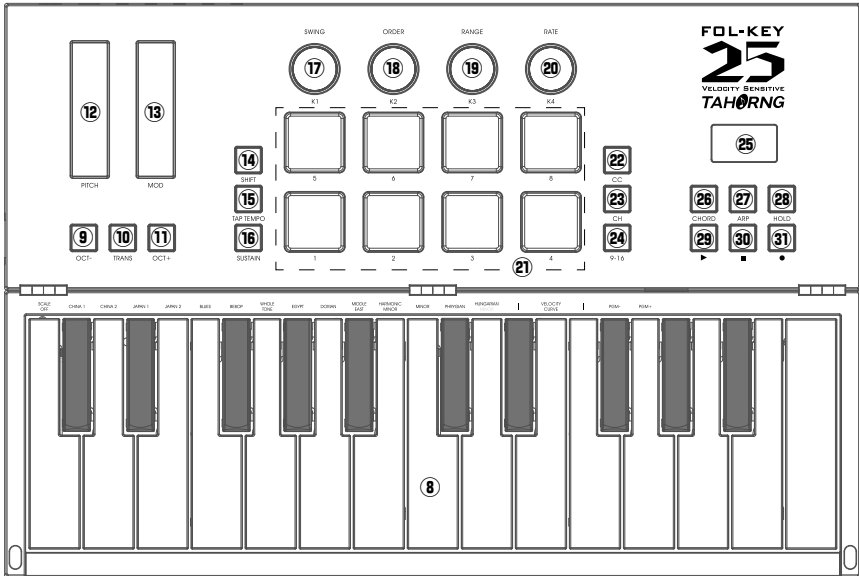
そのまま本体手前側から 1 の方式と同様に開き、起こしたパネルをスタンドにして斜めに上半分を立てた状態で使用します。



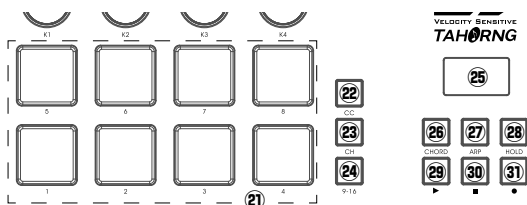
■各部の名称と機能



- ① **電源スイッチ** : 電源を入れるときはこのボタンを2秒間長押しします。電源を切るときは1秒間長押しします。
- ② **USB-C 端子** : 付属のUSBケーブルを使用して携帯電話充電用の5V-USB電源アダプター等(別売)に接続すると、本体のバッテリーを充電できます。また、PCと接続することでMIDIデータのやりとりを行うことが可能になります。
- ③ **SUSTAIN 端子** : 別売の専用サスティンペダルを接続すると、コントロールチェンジナンバー(CC#)64のホールドを送出可能です。3.5mmモノラルフォンジャックに変換できれば、ペダルオンでクローズタイプのサスティンペダルを使用できます。
※本体で極性の変更はできません。
- ④ **MIDI OUT 端子** : 付属の3.5mm⇔5pin DIN変換コネクタを使用して、MIDI音源などのMIDI IN端子と接続することでFOL-KEY 25のMIDI信号を使用してMIDI機器のコントロールが可能です。
- ⑤ **MOD OUT 端子** : モジュレーションスライダーの値で、0～約5Vの電圧を出力する端子です。
- ⑥ **GATE OUT 端子** : ノートオン時に5V、ノートオフ時に0Vのゲート電圧を出力する端子です。
- ⑦ **PITCH OUT 端子** : 1オクターブ1Vのコントロール電圧を出力する端子です。
- ⑧ **キーボード** : 25鍵分のベロシティー機能付き鍵盤です。
- ⑨ **OCT- ボタン** : キーボードの音域をオクターブをごとに低くするボタンです。最大4オクターブ低くできます。⑩のTRANSボタンを押しながらこのボタンを押すと、半音ずつ下にトランスポーズ(最大11半音)できます。なお、⑨と⑪のボタンを同時に押すとオクターブ変更のみ初期状態に戻すことができます。
- ⑩ **TRANS ボタン** : ⑨または⑪のボタンをオクターブ変更から半音変更に切り換えるボタンです。このボタンを押しながら⑨または⑪のボタンを操作するとキーボードのノート情報を半音単位で上または下にトランスポーズできます。なお、トランスポーズ値が0以外の場合、このボタンが点灯した状態になります。ボタン点灯中にもう一度TRANSボタンを押すと、点灯がやや暗くなり、設定したトランスポーズが一時的にキャンセルされます。再び押すとトランスポーズが有効になります。また、TRANSボタンを長押しすると設定したトランスポーズがリセットされます。
- ⑪ **OCT+ ボタン** : キーボードの音域をオクターブをごとに高くするボタンです。最大4オクターブ高くできます。⑩のTRANSボタンを押しながらこのボタンを押すと、半音ずつ上にトランスポーズ(最大11半音)できます。なお、⑨と⑪のボタンを同時に押すとオクターブ変更のみ初期状態に戻すことができます。

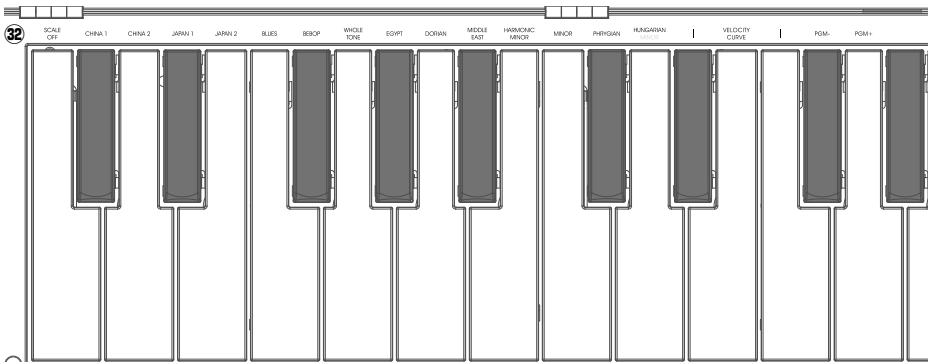


- ⑫ **PITCH パッド** : 中央より上にスライドするとプラスのピッチベンド値が送出され、下側にスライドするとマイナスのピッチベンド値が送出されるスライダータッチパッドです。
- ⑬ **MOD パッド** : C.C.#1 のモジュレーションを送出するスライダータッチパッドです。一番下が 0 で、最上部が 127 の値を送出できます。
- ⑭ **SHIFT ボタン** : このボタンを押しながら ⑧ の鍵盤部のキーを押すと、鍵盤部上部に記載されている機能として各鍵盤を使用することができます。また、⑰～⑳、及び㉔～㉓の機能を切り替える際にも使用します。
- ⑮ **TAP TEMPO ボタン** : アルペジエーターモードがオンの時に点滅し、現在のテンポを拍ごとの点滅で表現します。点滅中にこのボタンを 2 回以上押し、その間隔でテンポを設定することができます。
- ⑯ **SUSTAIN ボタン** : このボタンを押すと C.C.#64 のホールド（サステインペダル）情報が送出されます。別売のサステインペダルを接続して踏んだときと同じ効果が得られます。
- ⑰ **K1 ノブ** : C.C.#91 を送出するノブです。⑭ の SHIFT ボタンを押しながら回すと、アルペジエーターのシャッフル（スイング）値を変更できます。
- ⑱ **K2 ノブ** : C.C.#93 を送出するノブです。⑭ の SHIFT ボタンを押しながら回すと、アルペジエーターのオーダー（フレーズの種類）を変更できます。
- ⑲ **K3 ノブ** : C.C.#71 を送出するノブです。⑭ の SHIFT ボタンを押しながら回すと、アルペジエーターのレンジ（オクターブ範囲）を変更できます。
- ⑳ **K4 ノブ** : C.C.#74 を送出するノブです。⑭ の SHIFT ボタンを押しながら回すと、アルペジエーターのレイト（音価）値を変更できます。



- ②① **パッドスイッチ** : ペロシティーおよびアフタータッチ感知型のパッドスイッチです。通常時はノートナンバー 36 ~ 43 までのノートアフタータッチ付きで送出します。②~④のボタンを併用すると機能が切り替わります。
- ②② **CC ボタン** : ②① のパッドの機能をコントロールチェンジ送出モードに切り替えるボタンです。このボタンを点灯させている間は、パッドがコントロールチェンジナンバー 16 ~ 23 を送出します。コントロールチェンジデータの値は、パッドを押すと 127、離すと 0 が送出されます。
- ②③ **CH ボタン** : ②① のパッドの機能を FOL-KEY25 の送信 MIDI チャンネル変更モードに切り換えるボタンです。このボタンを点灯させた状態でパッドを押すとパッドに下部に記載された数値のチャンネルに切り替わります。
- ②④ **9-16 ボタン** : ②① のパッドで送出されるノートナンバーやコントロールチェンジナンバーおよびチャンネルの数値を切り換えるボタンです。ノートモードの時はノートナンバーが 44 ~ 51 に、コントロールチェンジモードの時はコントロールチェンジナンバーが 24 ~ 31 に、MIDI チャンネル設定時は 9 ~ 16 に切り替わります。
- ②⑤ **ディスプレイ** : 各種機能の数値などを確認できるディスプレイです。
- ②⑥ **CHORD ボタン** : このボタンを点灯させている間は、あらかじめ登録した和音を一つの鍵盤で送出することが可能です。和音を登録するにはこのボタンを長押しして、ディスプレイに「Ed I」と表示させます。そのままボタンを離さずに⑧のキーボードで和音を押さえ、ボタンを離すとキーボードで押さえた和音が登録されます。その後⑧のキーボードを押すと、押したキーボードの音程を登録した和音の一番低い音として和音のノートデータが送出されます。
- ②⑦ **ARP ボタン** : このボタンを点灯させている間は、アルペジエーターモードとなり、⑧のキーボードで抑えた和音を使用したアルペジオが送出されます。
- ②⑧ **HOLD ボタン** : アルペジエーターを HOLD（ホールド）モードで使用するとき点灯させます。通常時はキーボードを押さえている間だけアルペジオが送出されますが、HOLD モードにするとキーボードを離してもアルペジオが送出されたままになります。アルペジオを止めたいときは再度 HOLD ボタンを押して消灯させます。

- ②⑨ **トランスポートボタン▶** : MIDI マシンコントロール (MMC) の START またはコントロールチェンジを送出できます。⑭の SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ディスプレイに「 [C] 」(コントロールチェンジモード) と表示されコントロールチェンジモードに切り替わります。もう一度押すと「 [PPC] 」(MMC モード) と表示され MMC モードに戻ります。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#46 に設定されています。
- ③⑩ **トランスポートボタン■** : MIDI マシンコントロール (MMC) の STOP またはコントロールチェンジを送出できます。⑭の SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ディスプレイに「 [C] 」(コントロールチェンジモード) と表示されコントロールチェンジモードに切り替わります。もう一度押すと「 [PPC] 」(MMC モード) と表示され MMC モードに戻ります。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#47 に設定されています。
- ③⑪ **トランスポートボタン●** : MIDI マシンコントロール (MMC) の RECORD またはコントロールチェンジを送出できます。⑭の SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ディスプレイに「 [C] 」(コントロールチェンジモード) と表示されコントロールチェンジモードに切り替わります。もう一度押すと「 [PPC] 」(MMC モード) と表示され MMC モードに戻ります。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#48 に設定されています。

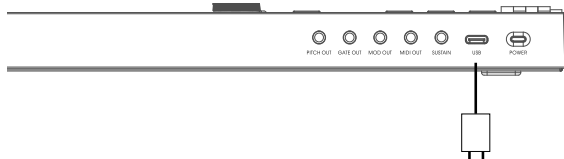


- ③⑫ **キーラベル** : キーボード上部に表示された機能を表すラベルです。⑭の SHIFT キーを押しながら該当するラベルのすぐ下にある鍵盤を押すとその機能が実行されます。スケール名のキーボードを押すと、該当するスケールに変更されます。VELOCITY CURVE (ベロシティーカーブ) のキーボードではキーを押すたびに「 [Sft] 」(ソフト)、「 [hrd] 」(ハード)、「 [F ix] 」(固定)、「 [CSt] 」(カスタム) の 4 つを切り換えることができます。

■ FOL-KEY 25 の充電

FOL-KEY25 にはバッテリーが内蔵されており、充電を行うことで Bluetooth 接続時や MIDI 端子接続時に本体のみで（アダプターなどを接続せずに）ご使用いただけます。

FOL-KEY25 を充電する際は、②の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話充電用等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続して行います。



充電中は、内蔵のバッテリーを充電するには、背面の USB 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話充電用等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続して行います。充電中はディスプレイ下部に 3 つのドットが流れるように点滅します。この点滅が終了すれば充電は完了ですので、USB ケーブルを外してください。充電後はケーブルを外した状態でご使用になれます。

動作が不安定になった場合はバッテリーの残量が不足していることが考えられますので、速やかに充電を行って下さい。また、バッテリーの残量が少なくなるとディスプレイが 1 秒に 1 回点滅し始め、約 3 分後に自動的に電源がオフになります。

また、何も操作せずに 30 分以上経過すると、自動的に電源をオフにするオートパワーオフ機能が搭載されています。

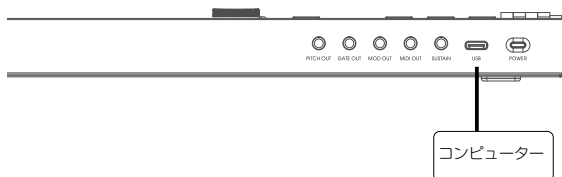
なお、バッテリーの性能低下ならびに寿命を縮めることとなりますので、充電残量が少ない状態で長期間放置しないようお願いいたします。

■ FOL-KEY 25 の接続

FOL-KEY25 を使用するには、次の 4 つの接続方法があります。

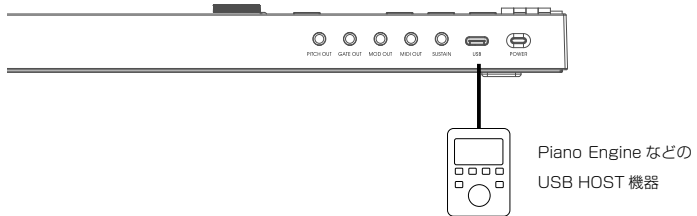
USB ケーブルで PC と接続

付属の USB ケーブルで、Windows または macOS のコンピューターに接続してください。クラスコンプライアンスに対応しておりますので、特にドライバーなどを入れる必要はありません。電源はコンピューター側から供給されます（FOL-KEY25 の電源をオンにしてお使いください）。



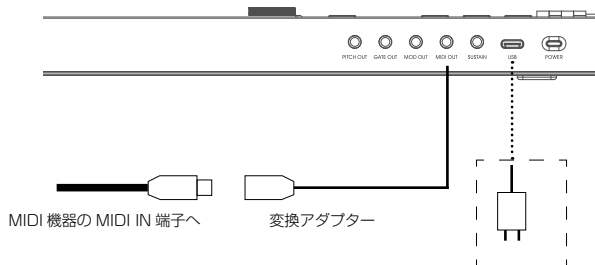
USB ケーブルで USB HOST 機器と接続

付属の USB ケーブルで、Piano Engine などの USB HOST 機器の USB HOST 端子に接続してください。電源は USB HOST 機器側から供給されます（FOL-KEY25 の電源をオンにしてお使いください）。



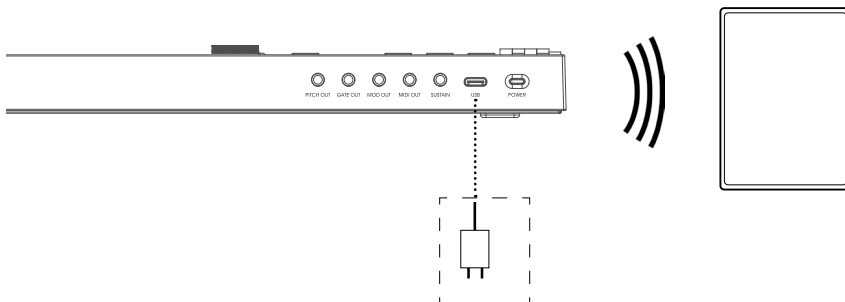
MIDI 端子に MIDI 変換アダプターを使用して MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続

付属の MIDI 変換アダプターを④の MIDI 端子に接続し、MIDI ケーブル（別売）を使用して MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続します。FOL-KEY25 のバッテリーで駆動可能ですが、必要に応じて②の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話充電用等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続してください（FOL-KEY25 の電源をオンにしてお使いください）。



Bluetooth で iOS 機器と接続

iOS 機器で Bluetooth をオンにし、Bluetooth MIDI に対応したアプリケーションの設定画面から FOL-KEY 25 を選択して接続すると、Bluetooth 経由で MIDI データを FOL-KEY 25 から iOS のアプリケーションに送ることができます。FOL-KEY25 のバッテリーで駆動可能ですが、必要に応じて②の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話充電用等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続してください（FOL-KEY25 の電源をオンにしてお使いください）。



FOL-KEY25 の電源をオンにした状態で、iOS の「設定」で「Bluetooth」を選択し、下図の様にオンにします。

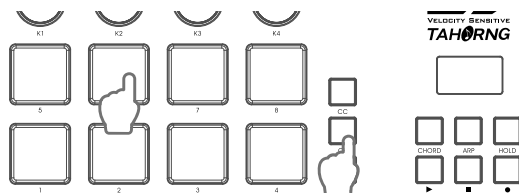


使用するアプリケーションの MIDI 設定画面で Bluetooth の接続を選択し、FOL-KEY25 と接続します。下図は Garage Band の例です。



■ MIDI チャンネルの設定

FOL-KEY25 の電源を入れると⑤のディスプレイ部分に C01 という表示が出ます。これは、現在の送信 MIDI チャンネルが 1ch であることを意味します。送信 MIDI チャンネルを変更するには、②の CH ボタンを押してボタンを点灯させた状態で、パッドの 1～8 のいずれかを押します。ラベルの下にあるキーボードを押します。



MIDI チャンネルを変更すると⑤のディスプレイ部に **C05** の様に変更した MIDI チャンネルが表示されます。

パッドに数字のない 9 チャンネル～ 16 チャンネルに設定した場合は、④の 9-16 ボタンを点灯させた状態でパッドの 1～8 を押すと 9～16 のパッドとして使用することができます。

■ プログラムチェンジの送出

下記の手順でプログラムチェンジを送出することができます。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「PGM +」(白鍵) または「PGM -」(黒鍵) のキーボードを押します。
2. 「PGM +」(白鍵) を押すと⑤のディスプレイ部分に前回送出したプログラムチェンジナンバーに 1 足されたプログラムチェンジが表示され、同時に MIDI データも送出されます。初期状態は **000** ですので、最初に「PGM +」(白鍵) を押すと **001** と表示されます。なお、本機のプログラムチェンジナンバーは 000～127 で表記されています。
3. 「PGM -」(黒鍵) を押すと⑤のディスプレイ部分に前回送出したプログラムチェンジナンバーに 1 引かれたプログラムチェンジが表示され、同時に MIDI データも送出されます。

■アルペジエーターの設定

⑭の SHIFT ボタンを押しながら⑰～⑳の K1 ～ K4 のツマミを動かすと、アルペジエーターの様々な設定が変更できます。設定できる内容は下記の通りです。

SHIFT+ ⑰ (K1 のツマミ)

シャッフルの具合を調節できます (OFF ～ 75)。OFF ではシャッフルオフ、数値を上げていくと偶数番目のノートが遅れて発音します。

SHIFT+ ⑱ (K2 のツマミ)

アルペジエーターのフレーズを 4 段階で設定できます。

- odr* : 鍵盤を押した順番どおりにアルペジオが鳴ります。
- up* : 押さえた鍵盤の低い方から高い方に向かってアルペジオします。
- dn* : 押さえた鍵盤の高い方から低い方に向かってアルペジオします。
- ud* : 押さえた鍵盤の音程を低い方から高い方に向かった後、最高音まで行ったら低い方に向かい、これを繰り返してアルペジオします (アップダウン)。
- rnd* : 押さえた鍵盤の音程をランダムにアルペジオします。

SHIFT+ ⑲ (K3 のツマミ)

アルペジオするオクターブの範囲を設定します。初期値は 1 オクターブ (オクターブ内でのアルペジオ)。最大 4 オクターブまで設定できます。

SHIFT+ ⑳ (K4 のツマミ)

アルペジエーターの音価を設定できます。

- 4* : 4 分音符の音価でアルペジオが鳴ります。
- 4t* : 4 分音符 3 連 (2 拍三連) の音価でアルペジオが鳴ります。
- 8* : 8 分音符の音価でアルペジオが鳴ります。
- 8t* : 8 分音符 3 連の音価でアルペジオが鳴ります。
- 16* : 16 分音符の音価でアルペジオが鳴ります。
- 16t* : 16 分音符 3 連の音価でアルペジオが鳴ります。
- 32* : 32 分音符の音価でアルペジオが鳴ります。
- 32t* : 32 分音符 3 連の音価でアルペジオが鳴ります。

■ MMC の設定について

MMC モードを使用すると DAW のトランスポートにある PLAY、STOP、REC ボタンを、⑨、⑩、⑪のトランスポートボタンでコントロールすることが可能です。DAW のトランスポートとして使用するには、DAW の MMC デバイスを FOL-KEY25 に設定し、MMC デバイス ID を 116 に設定してください。

下記に Cubase 12 での設定例を記載します。



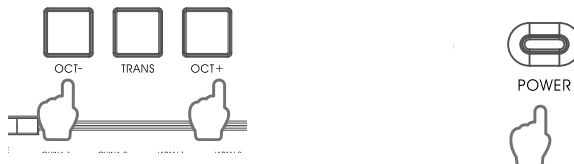
トランスポートメニューのプロジェクト同期設定を選択



マシンコントロールのタブにある入力設定にチェックを入れ、FOL-KEY25 を選択。MMC デバイス ID を 116 に設定

■設定のリセット

ボタンやノブのコントロールチェンジナンバー、及びチャンネル設定などを初期状態に戻したい場合は、一度電源を切り、⑨と⑪の OCT+ および OCT- ボタンを同時に押しながら電源を入れ直すと、ディスプレイには rE5 と表示され、全ての設定が初期状態に戻ります。

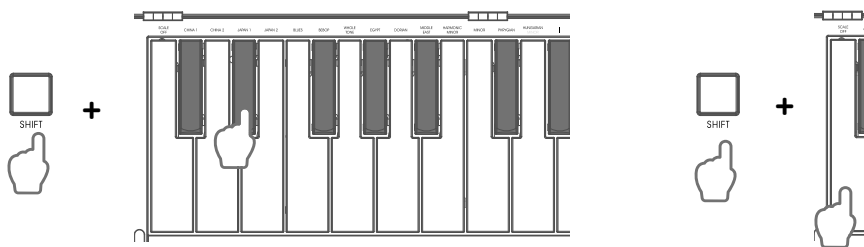


同時に押しながら電源を入れる

■スケール機能について

FOL-KEY25 にはスケール機能が搭載されており、スケールを選択することでキーボードを弾いたときに特定のノート（音程）だけを出すことができます。スケールの設定は以下の通りです。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベルの任意のスケール名（「Japan 1」など）のキーボードを押します。
2. ⑥のディスプレイ部分に選択されているスケール名が表示され（「Japan 1」の場合 JP 1 と表示）、スケールモードに設定されますので、SHIFT ボタンを離します。
3. スケールモードを解除する場合は、SHIFT ボタンを押しながらキーラベルの「Scale Off」のキーボード（白鍵）を押します。ディスプレイには **oFF** と表示され、SHIFT ボタンを離すと通常のモードに戻ります。




それぞれのスケール名と実際のノートの関係は、以下の表を参照ください。

ディスプレイ	スケール	ノート
oFF	-	-
cn 1	China1	C, D, E, G, A
cn 2	China2	C, bE, F, G, bB
JP 1	Japan1	C, bD, F, G, bB
JP 2	Japan2	C, D, bE, G, bA
bLU	Blues	C, bE, F, #F, G, bB
boP	BeBop	C, D, E, F, G, A, bB, B
WhT	Whole Tone	C, D, E, #F, #G, bB
EGY	Egypt	C, bD, bE, E, G, bA, bB
dor	Dorian	C, D, bE, F, G, A, bB
MiE	Middle East	C, bD, E, F, G, bA, B
hMi	Harmonic Minor	C, D, bE, F, G, bA, B
MiN	Minor	C, D, bE, F, G, bA, bB
Phr	Phrygian	C, bD, bE, F, G, bA, bB
hUN	Hung Min	C, D, bE, #F, G, bA, B

■コントロールチェンジ表

FOL-KEY25 で送信できるコントロールチェンジは下記の表の通りです。受信する機器により機能が異なる場合がありますが、一般的なコントロールチェンジの機能として参考にして下さい。なお、120～127はモードメッセージに分類されますので、機器によっては受信しても反応しない場合があります。詳しくは受信する機器のインプリメンテーションチャートを参照してください。

コントロール チェンジナンバー	機能	コントロール チェンジナンバー	機能
0	Bank Select MSB	66	Sostenuto On/Off
1	Modulation	67	Soft Pedal On/Off
2	Breath Controller	68	Legato Footswitch
3	Undefined	69	Hold 2
4	Foot Controller	70	Sound Variation
5	Portamento Time	71	Timbre/Harmonic Intens
6	Data Entry MSB	72	Release Time
7	Main Volume	73	Attack Time
8	Balance	74	Brightness
9	Undefined	75 ~ 79	Undefined
10	Pan	80 ~ 83	General Purpose Controller 5 ~ 8
11	Expression Controller	84	Portamento Control
12 ~ 13	Effect Controller 1 ~ 2	85 ~ 90	Undefined
14 ~ 15	Undefined	91	Reverb Send Level
16 ~ 19	General Purpose Controller 1 ~ 4	92	Effects 2 Depth
20 ~ 31	Undefined	93	Chorus Send Level
32	Bank Select LSB	94	Effects 4 Depth
33	Modulation LSB	95	Effects 5 Depth
34	Breath Controller LSB	96	Data Increment
35	Undefined	97	Data Decrement
36	Foot Controller LSB	98	NRPN LSB
37	Portamento LSB	99	NRPN MSB
38	Data Entry LSB	100	RPN LSB
39	Main Volume LSB	101	RPN MSB
40	Balance LSB	102 ~ 119	Undefined
41	Undefined	120	All Sound Off
42	Pan LSB	121	Reset All Controllers
43	Expression Controller LSB	122	Local Control On/Off
44 ~ 45	Effect Controller LSB 1 ~ 2	123	All Notes Off
46 ~ 47	Undefined	124	Omni Mode Off
49 ~ 52	General Purpose Controller LSB 1 ~ 4	125	Omni Mode On
53 ~ 63	Undefined	126	Mono Mode On
64	Sustain	127	Poly Mode On

 はモードメッセージ

■仕様

モデル名	FOL-KEY25
キーボード、パッド	25 鍵 (ペロシティー感知型)、8 パッド (ペロシティー感知型)
最大同時発音 (送信)	64 ノート
ディスプレイ	LED
ボタン	電源、OCT-、OCT+、TRANS、SHIFT、トランスポート×3、TAP TEMPO、SUSTAIN、CC、CH、9-16、CHORD、ARP、HOLD
ノブ	K1、K2、K3、K4
コネクター	USB (TYPE-C)、MIDI OUT、SUSTAIN、PITCH OUT、GATE OUT、MOD OUT
寸法	折りたたみ時：390 × 126 × 48 (mm)、展開時：775 × 126 × 24 (mm)
重量	1.0kg
付属品	USB ケーブル、MIDI 変換コネクター、取扱説明書

■保証書と保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から 1 年間です。鍵盤及び折りたたみ接合部（ヒンジ、支柱、パッキン等）については、ご購入の日から 6 ヶ月間の保証となります。

保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。

なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
- ②故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③本製品の本来の使い方以外で使用的場合
- ④火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑤誤った接続、操作による故障及び損傷
- ⑥ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

サポートサイト：http://www.fineassist.jp/support/contact_support/



QR コード→

製品名	FOL - KEY 25
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	電子部品：お買い上げ日より 1 年間 / 鍵盤及び折りたたみ部：お買い上げ日より 6 ヶ月間
お客様情報	住所
	氏名
	TEL _____ e-mail _____
購入店	